

# 駅から歩いて1時間

🚉 いわき駅北部

## 磐城平城の史跡たどる

### アツプダウンに四苦八苦も



旧城跡方面の出口となる、同駅北口

市内の乗車人員数ナンバーワン。いわきの玄関口として人の行き交う、JR常磐線いわき駅。北部には磐城平藩の城跡が点在し、同藩の歴史とゆかりのある寺院や公園などが残る。市が発行した歴史マップ片手に史跡を巡る旅は予想外にハードな道のりになった。

二〇一九年の乗車人員

した。

が市内で一番多い、同駅。定期券、定期外合わせて五千六百九十人と、二位の泉駅二千三百三十五人に比べ、二倍以上。いわきの玄関口として長年利用されてきた。旧駅名は平駅で、ある年齢以上の市民なら、「いわき駅」と言わず、つい「平駅」と呼んでしまう人も多い。駅名が変更されたのは平成六年の十二月。旧十四市町村合併後の昭和五十年代に、市名の知名度向上などを図るため、駅名に「いわき」を入れる形での名称変更など、民間のアンケートや、市の意識調査などを経て、ようやく実現した。

### 周辺MAP





# この地区 オリジナル

市総合観光案内所は、駅ビル内自由通路コンコースにある。平周辺だけでなく、市内の観光ガイド、パンフレット、マップなどが入手可能。徒歩や、路線バスなどを使ったさまざまな観光コースを案内している。定休日は一月一日。営業時間は午前十時から午後六時まで。

延喜式内磐城七社のひとつ、子鍛倉神社や、飯野八幡宮、磐城平藩、鳥居家菩提の長源寺、安藤家菩提、良善寺、平城の山門が移築され、戊辰戦争などの史跡が残る性源寺など、神社仏閣巡りもおすすぬ。旧城跡の内堀を利用した、丹後沢公園、安藤信正公の像や、旧天田愚庵邸がある松ヶ岡公園は四季の植物を楽しみながら、自然の中をウォーキングするのも一興。

- 市総合観光案内所 電話=23-0122
- 子鍛倉神社 電話=25-2091
- 長源寺 電話=23-1789
- 性源寺 電話=25-2961



駅ビル西側の再開発工事区画で旧平城の遺構が出土

北部の高台には、江戸時代初期に磐城平藩の初代領主に封ぜられた鳥居忠政公が新城

移築された山門などが残っている。敗れた後に廃城処分となり、現在では内堀跡、石垣の一部、

跡内堀跡を利用した丹後沢公園、前述の長源寺、幕府の老中の像がある松ヶ岡公園、安藤家の菩提寺良善寺、同家家臣

を築いた。忠政の父の元忠は、徳川家康に忠義を尽くし、大阪方との戦いで戦死を遂げている。將軍家はその功績と忠義を賞し、忠政は亡き父を弔うため、胡摩沢に菩提の長源寺を建立。現在も同寺に墓所や石碑などが残されている。

歴史ある古神社も 掲載史跡は、同名の翁が人柱になったと伝えられる、城跡内堀跡を利用した丹後沢公園、前述の長源寺、幕府の老中の像がある松ヶ岡公園、安藤家の菩提寺良善寺、同家家臣



磐城平藩主、安藤信正公の像

で文人として名高い天田愚庵邸、同城の山門が移築された性源寺など。コースの途中には寺院だけでなく、飯野八幡宮、子鍛倉神社と、歴史ある古い神社もあり、お参りすると心が清らかになったような気がして、足取りも少し軽くなった。とはいえ、駅から旧城跡へのぼり、一端下って平胡摩沢郵便局わきから、また坂を上がり、子鍛倉神社の階段を下りて、松ヶ岡公園にのぼる。これまでにアップダウンが激しいコースには、かなり苦戦した。散策するならば、涼しくなった秋口がおすすぬ。 (和)



食の安全・安心。さらに、おいしい

シーフードケーキ

『御申元・ご予約承り中』

創作かまぼこ **かねまん** 本舗

http://www.kaneman.net/ 0120-17-3360

■本店 福島県いわき市平下高久字下原83 TEL.0246-39-3360・FAX.39-3754

■電話・FAX・インターネットでも注文承ります。 ■本店営業時間AM8:00~PM4:00(年中無休)

■いわき・ら・ら・ミュウ店 福島県いわき市小名浜字辰巳町43-1 TEL&FAX.0246-53-7125

皆様の幸運を招く 恵比寿様 大黒様



■オンラインショップ www.kaneman.net インターネットでのご注文はこちら